

登録コード	E4673900	開講年度	2026			
授業科目	技術科基礎演習				担当教員	村松 浩幸 他
英文授業名	Seminar in Technology Education				副担当	小倉 光明
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・2時限	対象学生
講義室	教育W505講義室	授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				技術科教育の実践や教育研究に関する教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				技術科教育の実践や教育研究に関する専門的な知識・技能を身につけ、技術科教育に関する教育研究を深められるようにする。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	・データ処理や先行研究分析等，技術科教育研究方法の基礎を演習により学ぶ。また，教材・教具開発ができる知識，技術について演習を通して学び，教材の製作と模擬授業を行う。					
(5)授業計画	第1回：技術科教育研究論文の読み方（村松） 情報機器の活用を含む 第2回：技術科教育研究論文の相互紹介（村松） 情報機器の活用を含む 第3回：実践研究のデータ処理（直接確率計算）（村松） 情報機器の活用を含む 第4回：実践研究のデータ分析演習（直接確率計算）（村松） 情報機器の活用を含む 第5回：実践研究のデータ処理（t検定1）（小倉） 情報機器の活用を含む 第6回：実践研究のデータ処理（t検定2）（小倉） 情報機器の活用を含む 第7回：実践研究のデータ処理（相関・重回帰分析）（小倉） 情報機器の活用を含む 第8回：実践研究の事例（小倉） 情報機器の活用を含む 第9回：機械・装置設計のための基礎（川久保） 情報機器の活用を含む 第10回：機械の運動（川久保） 第11回：機械の強度（川久保） 第12回：機械技術とエネルギー変換（川久保） 第13回：卒業研究発表の聴講と振り返り（小倉） 第14回：卒業研究発表の聴講と振り返り ・授業アンケート実施（小倉） 定期試験					
(6)成績評価の方法	・課題のレポート内容で評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀，89-80% 優，79-70% 良，69-60% 可，59%以下 不可。					
(7)成績評価の基準	・課題のレポートに対して次の観点を見る。 問題が適切に説明されている。 問題の背景が説明されている。 問題にどのような検討課題があるかを把握している。 その検討課題に対してどんなことが考えられているのかを把握できている。 自分の見解が正しいことを検証している。そして， ～ 項目までができていれば「水準にある」， ～ 項目までができていれば「やや上にある」， ～ 項目までができていれば「かなり上にある」， ～ 項目までができていれば「卓越している」と評価する。					
(8)事前事後学習の内容	・この授業科目は60時間以上の時間外学習が必要となる。 ・予習として，毎回の講義タイトルを「キーワード」として，概ね1時間，事前に調査する。 ・復習として，授業時に興味をもった「キーワード」について，概ね1時間は図書館などで調査，あるいは試して確認する。 ・課題のレポート作成を通して授業内容の理解を深める。					
(9)履修上の注意	・技術科指導法基礎，木材加工基礎。金属加工基礎，機械基礎，電気電子基礎，情報基礎，技術と環境を履修していることが望ましい。					
(10)質問，相談への対応及び連絡先	・村松 木曜日 10:40～11:40（W217室）連絡先：muramatu@shinshu-u.ac.jp ・川久保 月曜日 16:20～17:50（W215室）連絡先：kawa-h@shinshu-u.ac.jp					
【教科書】	・関連授業の教科書。その他授業において適宜指示する。					
【参考文献】	・文部科学省 中学校学習指導要領 ・中学校学習指導要領解説 - 技術・家庭編 - ・その他，授業において適宜指示する。					